

研究所だより

代表取締役異動のお知らせ

巻頭言で社長の金谷よりご挨拶させていただきましたとおり、私ども価値総合研究所では2010年11月に代表取締役の異動を行いました。2001年のMEBO（役職員による全株式譲受）時より代表取締役社長を務めて参りました黒川俊夫が取締役会長に就き、金谷隆正が代表取締役社長に就任いたしました。

また、この異動に先立って、当社自己株式の一部を株式会社日本経済研究所（株式会社日本政策投資銀行の100%子会社）に割り当て、同社グループとの資本業務提携を構築しております。私ども価値総合研究所と株式会社日本経済研究所、株式会社日本政策投資銀行の3社は2009年11月に業務提携契約を締結し、調査・コンサルティングの品質向上に努めてきております。

今後とも皆様方のお役に立てるよう業務に邁進して参りますので、倍旧のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

新たな飛躍に向けて

21世紀初めの10年があつという間に過ぎ去り2011年を迎えました。今年の企業トップの年頭挨拶には干支にちなんだものが多かったように感じます。ウサギの長い耳にあやかって情報感度を高めよう、ウサギのように力強く跳躍・飛躍していこう、といったものです。

新興国の台頭が著しく、中国がGDPで日本を上回ったというようなニュースに接して悲観的になる向きもあるようですが、情報を冷静に捉えて新たな飛躍に結び付けていきたいものです。人口が日本の10倍に上る中国とGDPが同等ということは1人あたりでは日本の付加価値が10倍高いことを意味します。周辺諸国の経済発展は多くの日本企業に新たな活躍の場をもたらしてくれます。

根拠のない楽観論は戒めなければいけません、悲観的・自虐的になりがちなメディアの論調に乗ってしまってせっかくのチャンスを見逃してしまうといったことにならないよう、足元を固めつつ力強く前進していきたいものです。

価値総研のコンサルティングは常に長期的な観点から、クライアントの皆様と“未来の価値をともに創る”お手伝いをして参ります。皆様方の新たな飛躍に向けて私どもの調査・コンサルティングサービスをご活用いただければ幸いです。

編集者から

本号は、「マネジメントコンサルティング」をテーマとして、価値総研の提供する主なメニューの紹介、コンサルタントの関心が高いテーマなどから構成し、価値総研マネジメントコンサルティング事業部のメンバー全員が、それぞれ一テーマずつ執筆しました。

執筆にあたっては、「マネジメントを専門とされていない方にも、広く関心を持っていただくこと」を目指し、一つひとつのテーマをコンパクトに、極力簡単な内容で、分かりやすい表現を意識しながら作成しました。

このような方針で作成しており、これまでの Best Value とは違った印象に仕上がっていると思いますが、本号をきっかけに価値総研の提供するマネジメントコンサルティングサービスに関心をもつていただければ幸いです。

Best Value では、今後も、皆さまのお役にたてるよう、様々なテーマに取り組みたいと思っておりますので、引き続き、よろしく御願い申し上げます。